

みなみしまばらし 議会だより

NO.77
令和7年
8月14日発行



「海開き式」

| CONTENTS |

- 令和7年第2回定例会の主な議案 P 2 ～ P 3
- 一般質問 P 4 ～ P10
- 委員会活動 P11～ P12
- その他 P13～ P16

R7

令和7年度 一般会計補正予算(第3号)

補正額 **335万2千円**増額

可決

Q 損害賠償請求に係る賠償金等に要する経費

・市に対する損害賠償金・弁護士費用



賠償金・費用



法律事務所



財産の取得について

(公立学校情報機器整備事業におけるPC端末(Chromebook)共同調達)

補正額 **6,011万2,800円**(1,104台)

可決

・国のGIGAスクール構想に基づき、1人1台の教育用端末の計画的な更新を行うため、市立中学校の生徒及び教師用端末を購入するもの(長崎県との共同調達)。



人事案件



南島原市副市長(任期4年)

(令和7年7月5日から令和11年7月4日)

宮崎 太氏(南有馬町)



R7

令和7年度 一般会計補正予算(第2号)

補正額 **2億9,426万1千円**増額

可決

Q 定額減税調整給付金支給事業に要する経費

2億3,208万2千円

・令和6年分所得確定に伴い精算等により不足額を給付する経費を増額

支給対象:約7,000人

※令和6年度に前年所得に基づき推計で当初調整給付支給済



Q 急傾斜地崩壊対策事業に要する経費

4,000万円

・市道石田線の法面对策工事を実施する経費を増額



Q サテライトオフィス等開設支援事業補助金返還に要する経費

1,680万円

・返還訴訟に伴う財産保全仮差押え費用





一般質問

第2回定例会では、13人の議員が一般質問を行い、3日間にわたり活発な議論を展開しました。

議会を動画で見よう！

◆インターネットで録画配信している本会議の様子がご覧になれます。



南島原市議会 中継



南島原市の医療体制について 市長の評価は

市長 危機感を持っているところである。



寺澤 佳洋 議員

RSウイルスワクチンについて

議員 高齢者や妊婦に対するワクチン接種の助成金制度に対する市の考え方は。

市長 現在、国において定期接種化を検討されているので、もししばらく国の動向を注視したいと考えている。

議員 ほかのワクチンに関しては。

福祉保健部長 医療提供体制が厳しい状況という中で、ワクチン接種による予防対策については十分理解をしている。

南島原市の医療体制について

議員 今後の市としての対応は。

市長 今回制定をした医療提供体制確保事業補助金を活用した医師の確保に注力していきたいと考えているが、同時にオンライン診療など様々なサービス、方法の可能性を模索する必要があると考えている。

議員 医師以外にも看護師や歯科衛生士などコメディカルの人材確保に関する検討及び課題解決に向けても、ぜひ動いていただきたいと思うが。

福祉保健部長 今のような意見をいただきながら、まずは医療提供体制確保事業補助制度に注力し、併せてこういった支援策を今後立てることができるといことを考えていきたい。

サテライトオフィス事業について

議員 市長やほかの関係

者は、別の形で追加して責任を取ることを考えているか。

市長 今後の展開によって、私としてまたほかの役職者が別の形で追加して責任を取ることにについては、裁判また第三者委員会の結果などを踏まえて、公務における責任の在り方について適切に判断し、対応することを検討していかなければならないと考えている。

その他の質問

○ドローン事業について
○チョイソコみなみしまばらについて

○原城跡世界遺産センター整備事業について



節水型乾田直播栽培について

市長 制度にしっかり取り組んでいけるかが課題。



日向 栄司 議員

中干しによるメタン排出削減とソーレジット制度について

議員 中干しと、ソーレジット制度についての本市での対応は。

農林水産部長 周知を図るためホームページ等で情報発信をしていきたい。

議員 共に伴走できる支援団体の誘致や育成の考えはあるのか。

農林水産部長 県や関係機関・民間団体等の情報収集も併せて取り組んでいきたい。

節水型乾田直播栽培について

議員 国・県の支援制度活用状況と本市の今後の導入対策は。

農林水産部長 国や県の支援内容の詳細把握に努め、制度の活用について、市民への周知と推進を図っていく。また、乾田直播を含めた水稻技術等の支援に関しては、県と連携して取り組んでいきたい。

原城跡世界遺産センター整備の進め方と地域の連携について

議員 整備後の運営体制や活用方針は。

農林水産部長 7月から物産施設の入居者募集を開始する。一次産業を中心として観光振興に取り組む。

議員 民間業者のノウハウを活用する考えはないのか。

農林水産部長 民間事業者のノウハウを最大限活用することで住民ニーズに対応でき、また来たくな



るような地域に愛される施設にするため、あらゆる方面から検討を行い、取り組んでいきたいと考えている。

議員 地域資源としての世界遺産を活用した観光・教育・地域振興の展望は。

地域振興部長 一般旅行はもとより、教育旅行の面からも広くPRしていく必要があると考えている。

書かない窓口を含むDX施策の市民周知と利用支援について

議員 利便性向上と誰ひとり取り残さない行政サービスの両立に対する市の考え方は。

総務部長 相談窓口の設置、あるいは市政出前講座の活用、これらを利用して、利用環境の整備を進めていきたいと思っている。

被害届はまだ出ていませんよね

市長 今弁護士と事務所と相談している。



高木 和恵 議員

監査の勧告について

議員 2点目の勧告を具体的に説明を。

代表監査委員 勧告の理由は、担当課へのヒアリングの中で、概算払い、委任払いについては、補助対象者からの申出を受けて行ったと回答。しかし調査した結果は、口頭でのやり取りのみで、それを裏付ける書類が確認できなかった。今回の件でも補助対象者と市側の主張に矛盾がある。他の自治体では口頭ではなく、相手からの書類の申し出を受けて審査して支出事務を

行っている。他団体の事例も参考にして、本市の例規の改正も含めて適切な支出事務の構築を図るよう、市長に対して勧告をした。

執行権者の責任について

議員 市長は給与の半分を1年間カット、副市長は退任。副市長は告発はされていない、また罪を認めて辞めていない。サテライトオフィス問題はまだ解決していない。副市長が退任する理由にはならない。この件は市長の責任が重大。議会は市長の不信任案を提出することを議決することが今議会がやるべきことと、私は確信する。

市長 裁判や第三者委員会の結果など、公務における責任の在り方を適切に判断して対応する。

政治倫理について

議員 市長等の政治倫理条例と職員倫理規程について、抵触しない理由は。

市長・総務部長 条例及び規程については、特定の

旧北有馬学校給食センターの解体スケジュール

- ・8月以降に入札
- ・契約
- ・今年度末(3月)までに工事完了予定

※備品のオークション実施予定

議員 被害届が出ても受理するかどうかは分からない。警察の判断ですから。市長、一応出してください。

議員 警察署に「被害届を出せる立場の人」を尋ねた。一般的な回答として「被害を受けた人」との回答。市長、被害を受けたのは南島原市、市の代表者は松本市長。違いますか。

被害届について

法人に出資、補助金を交付し、市と利害関係があることを前提としている。利害関係者でない時期に個人による金銭の協力は規定されていない。



駅舎等の活用計画は

皆様の意見を頂き、地域に合った活用計画を策定し随時整備したい。



末統浩二郎 議員

森林環境の整備について

議員 森林の保護に関する取り組みは。

市長 市有林は7名に監視業務を委託している。全国山火事予防運動時に啓発実施。今後、広報紙・ホームページを活用したい。

議員 全国で大規模な山火事が発生している。啓発のほかの対策協議は。

農林水産部長 現状では整備はできていないが、火入れに関する条例で許可の要件としている。今後県・他市と連携し林野火

災の予防に努める。

議員 森林譲与税を充当した事業は。今後の予定は。

農林水産部長 基金への積立を行い、令和3年度から市有林の防虫対策、民有林の間伐、担い手確保事業等を実施中。今後は管理計画を策定し、地元要請に応じ実施予定。

議員 鳥獣害対策は。

農林水産部長 森林に対する直接的被害は無い。里山地域の森林整備に努める。

農業振興について

議員 令和7年度産米の栽培状況は。

農林水産部長 平成30年から生産者が需要に応じ栽培できる制度であり、今年の主食用米の生産目安は昨年と同様。

議員 飼料用米栽培減に伴う畜産農家支援は。

農林水産部長 本市では主食用米へ3ha変更予定。令和6年度に配合飼料高騰に対する基金への掛金補助を実施中。国・県の対策に応じ積極的に活用予定。

議員 オーガニック米栽培増対策は。

農林水産部長 給食用米(チャレンジ米)は昨年度20アール、600kg収穫、3月給食に使用。今年度60アール栽培、複数回の給食予定。主食用米の地産地消を図りたい。

自転車歩行者専用道路について

議員 現在の進捗状況は。

建設部長 21km供用中、整備中が4.6km。

議員 駅舎等の活用計画は。

地域振興部長 明確な計画は無い。駅舎ごとに地域の意見を頂き、早い段階で地域に合った活用計画を策定し、随時整備したい。



活用が望まれる駅舎(北有馬)



質問の様子を動画で見よう



質問の様子を動画で見よう

現在、小中合わせて10校、372名が利用している。

ツールド南島原について

議員 今大会の主旨目的は。

地域振興部長 サイクリングのまち南島原市のPRを図るとともに、多くの方に南島原を訪れていただき、サイクリングを通じて本市の魅力を体感してもらうことで、大会後の本市への観光客増加とこれに伴う地域経済の活性化を目的に開催した。

議員 参加者はどれくらいだったか。またその内訳は。

地域振興部長 312名が参加。内訳は、県内138名、県外174名、市内19名。

議員 参加者の感想はどうだったのか。

地域振興部長 「景色がよい南島原の魅力が十分堪能できた。」「おもてなしブースで振舞われたグルメの質が高かった」「第一回と思えぬ、スタッフの笑顔・接し方が良かった」「心温まる大会だった」な



自転車歩行者専用道路

教育次長 現時点での予定はない。

熱中症対策について

議員 熱中症対策として、5℃～15℃の冷水が、半永久的に使用できる給水スポット(隣市で導入)というものがあるが、世界遺産センターに設置できないか。



隈部和久 議員

議員 本市で潮流発電の研究をしている、早崎潮流発電推進研究会が、国の再エネ関連の支援事業に応募されているが、採択された場合、事業費の2割の部分を企業版ふるさと納税制度を活用した協力支援ができないか。

環境水道部長 現時点での潮流発電関連については、本市で事業化していないので、同制度での支援は困難である。

議員 同研究会は、一昨年冬に、早崎沖で実証実験

市農産物のトップセールスについて

市長 本市のトップとして食の宝庫南島原を積極的にPRし、本市の活性化に寄与したい。



酒井光則 議員

農業振興について

議員 加津佐町の奥田ため池の浚渫を行う考えは。

農林水産部長 現在奥田ため池を含めて3件浚渫の要望がある。緊急浚渫推進事業債が令和11年度まで延伸されたので、事業期間中の解消に向けて要望の3件に取り組んでいきたい。

議員 基盤整備事業の石材の補助率が95%から90%に引き下がるようだが。

農林水産部長 令和8年度以降に推進準備会が設立された地区については90%

に改正した。

先進的海洋センター整備事業について

議員 事業の進捗状況は。

教育長 令和7年4月28日付で、B&G財団から助成事業の正式決定の通知があった。今年度は、艇庫、女島ハウス、バンガローの解体工事をして、来年度から建築工事等に着手し、令和10年度の完成を目指して進める。

議員 艇庫、バンガロー、女島ハウスは夏場の利用が主であると思うが、どのような運営運用を行うのか。

教育次長 艇庫機能をはじめ人材育成や多世代交流を目的とした研修室、交流室及び学習室などを備えた複合施設としたい。バンガローについては、一般の宿泊客はもとより、人材育成のための研修生の受け入れ等に対応できる宿泊施設として活用を予定している。



B&G海洋センター艇庫



質問の様子を動画で見よう



質問の様子を動画で見よう

その他の質問

○公衆用道路に残る個人名義の土地について等

その他の案件

○自転車・歩行者専用道路関連
○学校給食センターの事業に関するもの
○サテライトオフィス問題関連



潮流発電の実証実験

補助金支出に関し 徹底した真相解明を

市長 ▶ そのような段階を踏んでいる。



田中次廣 議員

サテライトオフィス 整備事業について

議員 エバーグリーンに
対し9千万円返還訴訟中
だが、証人尋問の証言で
はお金は残っていないと
のこと。お金が市に返還
されない場合の対応は。
地域振興部長 裁判に勝訴
し返還してもらうために、
今取り組んでいる。

刑事告訴・告発について

議員 刑事告訴・告発す
るために弁護士と現在協
議しているのか。
地域振興部長 刑事告発す
るほうで最終的な段階に

きている。

警察への被害届について

議員 エバーグリーンに振
り込んだ9千万円が返還さ
れていないことは、市が損
失を受けていると思うが。
地域振興部長 南島原市が
被害を受けていると認識
している。

議員 刑事告訴・告発と
並行して、まずは被害届
を警察に提出すべきでは。

市長 市の公金が不適切
に使われた事実に対し責
任ある対応をとるべきと
考えている。そのため法
的に可能な手段を検討し
返還に取り組んでいく。

議員 被害届をまず出し
ていただきたい。そして、
捜査の中で刑事事件とし
て立証できることもある
と思う。今回の問題は振
り込んだ9千万円に相当
する工事が施工されずに
事業は頓挫している。ま
た、お金がいろんなところ
に振り込まれているが、何
の目的で誰の指示で振り
込まれたのか。司法の手を
借りないと調べることに

できない。なぜこのような
状況に至ったのか。今後の
ためにも徹底した真相解
明を行っていただきたい。

原城温泉真砂について

議員 平成11年、南有馬
町の時に開設し、現在ま
で26年間、多くの皆さん
に利用いただいており、
なくてはならない真砂で
あったと思うが。

地域振興部長 市内でのイ
ベント、観光客の受け入れな
ど大変重要な役割を果たし
てきたと思っている。26年間
の内、令和3、4、5年の3
年間はコロナの影響で市か
ら指定管理料を支払ったが、
それ以外は1億8,200
万円という寄附金を旧南有
馬町、南島原市に頂いてい
る。市から支出をした指定
管理料を差し引いても、十
分プラスの経営となっている。



原城温泉真砂



質問の様子を
動画で見よう

農林水産部長 5haから圃
場整備ができる事業があ
るが要件が厳しい。
議員 少しずつでも基盤
整備を進めていかないと
担い手の確保は難しいと
思う。

市道の管理について

議員 市道の管理はどの
ようになっているのか。
建設部長 令和7年4月
に維持管理計画を策定し
運用している。内容は道
路巡回の頻度、清掃、除
草作業等の作業項目、道
路施設の点検などである。
議員 通行の妨げになる
竹や木の管理を継続して
行ってほしい。



通行の妨げになる木の状況

南島原市の中期財政 見通しについて

総務部長 ▶ 5年度、6
年度だけで見ると、計
画よりはよい。



林田久富 議員

農業振興について

議員 米不足について南
島原市の生産者の現状と
今後の対策は。

市長 市内には水田が1、
630haある。令和6年
度の作付調査による本市
の水稲栽培面積は約51
9haである。対策につ
いては、現在取り組んで
いる水田活用の直接支払
交付金等による支援を行
いながら、今後見込まれる
水田政策の根本的な見直
しについて、新たな制度
等の活用を含め、農業者
へ情報提供を行なう。

公共施設オンライン 予約導入は

教育次長 ▶ 今年度中に
は運用開始ができるよ
うになると考えている。



松本添花 議員

部活動の地域クラブ化 について

議員 今後クラブ化を検
討されている競技は。

教育次長 柔道、剣道、
空手、陸上、バレーボ
ール、バスケットボ
ール、地域クラブ定着
後の将来的なビジョンは。
教育長 サポートセンタ
ーを中心に、学校だけ
でなく学校外の社会教育
を充実させることで、児
童生徒や地域の方、教職
員が生き生きとスポー
ツ、文化活動に取り組む
ことができ、不登校支援
や障害を持った子供も
今より

サテライトオフィス 整備事業について

議員 第三者委員会の進
捗状況・裁判の状況を踏
まえた市長の考えを尋ね
る。

市長 公金の適切な執行
に努める義務があること、
今回の事件についての責
任を重く受け止めている。
市の公金が不適切に使わ
れたこの事実に対して、
責任ある対応を取らなけ
ればならないと考えてい
る。

道路について

議員 島原半島の西回り
ルート、口之津・小浜の
進捗状況について尋ねる。

市長 島原半島南部地域
の幹線道路の早期実現に
向けて要望活動を行って
いる。国・県、そして半
島3市で構成する島原半
島地域幹線道路網に関す
る検討会の中で、島原半
島西回り道路を含めて協
議、検討を今行っている。
議員 市道の復旧という
ことで、大坂地区につい



国道251号(赤間～権田間)被災状況



質問の様子を
動画で見よう

手厚い支援を受けること
ができるようになる。将
来的なまちづくりに繋
がっていくと思い、この
地域展開を大きなチャン
スと捉え、さらなる充実
を図り、本市の魅力を最
大限に発信していきたい。

公共施設予約システム について

議員 オンライン予約の
場合、スマホなどに不慣
れな方への対応は。

教育次長 従来どおりの
方法でも引き続きやって
いく。

そつめん振興について

議員 製造業者数と生産
量の推移について。

地域振興部長 最盛期の昭
和61年度が450事業所、
令和6年度は222事業
所。生産量は昭和61年度
が1万5,903t、令和
6年度は1万181t。

議員 若手後継者や新規
参入者を増やす育成支援は。
地域振興部長 就業後3年
間交付する後継者給付金、
また定期的にアンケート

で、今の状況、今後の方
針について尋ねる。

農林水産部長 今、復旧工
事に関する測量設計が行
われている。6月をめぐ
に大体内容が固まる。そ
の内容が決まり次第、説
明会の開催を予定してい
る。

豪雨対策について

議員 加津佐津吹湖の今
後の対策について尋ねる。

建設部長 5月末に入札
を行い、契約を済ませて
現地業務へ入る準備を現
在進めている。今後は、
調査結果を基に浸水対策
案を作成していく。



7月3日のそつめん給食

議員 関係機関や住民と
の連携による継続的な支
援が必要であると考え
るが、戦略的かつ実効性
のある振興施策を進めて
ほしい。市長の見解は。
市長 島原手延べそつめ
んは本市の代表的な特産
品。これまでの取組によ
り認知度は大変向上して
いるが、担い手不足や高
齢化などの課題がある。
今後も引き続き課題解決
に向けて積極的に取り組
み、そつめん産業の振興
を図っていきたい。

被災後の環境悪化に伴う犠牲者を少なくする減災設備の充実が必要である。市長の見解は。

市長 しっかり検討していきたい。



田中克彦 議員

防災井戸の設置について

議員 公的な場所への防災井戸設置をどのように考えているのか。

総務部長 大規模災害時における生活用水の確保の必要性については認識している。実際の設置となると、既存の浄水施設や防火水槽の代替利用、民間井戸の活用、設置箇所の地理的条件等に加え、財政面も考慮した上で慎重な検討が必要ではないかと感じている。

議員 熊本震災の場合、直接死が50人、関連死は200人超である。関連

地域クラブサポートセンターの役割と今後の支援体制について

総務部長 緊急防災減災事業債（充当率100%、交付税措置70%）が活用できるような。真に設置が必要であるかをまずは検討すべきだ。

議員 「南島原市地域クラブサポートセンター」が設立されるが、当センターの設置目的は。

教育長 子供も大人も夢中になってスポーツや文化活動に親しみ、生涯にわたって豊かなスポーツ、文化ライフを送れる生涯学習のきっかけを作ることが目的である。

議員 サポートセンターの中長期的なビジョンは。



熊本県志志市防災井戸



質問の様子を動画で見よう

死の原因には、生活用水の不足やトイレ問題が含まれている。災害後の関連死が無い状況を作る必要がある。また、井戸の整備には国の補助金があると聞いているが。

その他の質問

○「みんなで防犯プロジェクト」について
○解体工事における競争入札の参加条件について

末統浩二郎 委員長

総務委員長報告(概要)

・議案1件を原案可決

【議案第34号】令和7年度南島原市一般会計補正予算(第2号)

〈総務部関係〉

質疑 物価高騰対策重点支援地方創生臨時交付金が定額減税調整給付金に充てられているが、給付金の対象は。また、交付金の充当は妥当か。

答弁 令和6年度実施の定額減税調整給付金は課税見込みで実施。課税額が確定したため、減額がしきれなかった方、青色・白色事業専従者等に対し、精算給付を実施。給付金の財源は物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金として配分される。

質疑 今年度分として、国から限度額が示された物価高騰対策分の使途は。

答弁 令和5年度の推奨

メニューと同様。活用を検討中。

質疑 通勤手当は本人支出のとおりか。確認は。

答弁 本人申出により支給。年度初めに本人確認をし、変更時は遡及精算している。届出時人事課でも確認。

質疑 パトロール員の雇用は公募か。経験者の有利性や公募条件は。

答弁 会計年度職員のため年度末が任用期限。人事評価の結果で継続任用可能だが5年ごとに公募。選考に優位性は無い、年齢等の制限も無い。

質疑 出産・育児休暇がある場合は、すべて代替職員を採用するのか。

答弁 担当課の申出によ



委員会の様子(議場で開催)

り雇用。
質疑 アーカイブズ事業の下水道工事は。

答弁 浄化槽老朽化のため下水道への接続を実施。校舎の既設管の勾配不足のため管路工事を追加。

〈地域振興部関係〉

商工観光課長より、1,680万円の増額は、(株)エバーグリーンが提起している4件の返還訴訟(8,400万円)の財産保全のための仮差押えに伴う供託金を予算計上した。との説明を受けた。

(採決の結果、原案可決)

人口減少対策について、今後の展望は

市長 南島原市デジタル田園都市国家構想総合戦略に基づき各種施策を進めていく。



中村哲康 議員

人口減少対策について

議員 令和5年度、出生数168名、亡くなった人821名、転出(外国人含)1,163名。令和6年度、出生数158名、亡くなった人870名、転出(外国人含)1,097名と、かなりの数の人口が減っているが、どのようにお考えか。

市長 令和2年の国勢調査における本市の人口は4万2,330人で、平成27年と比較した減少率は県内で4番目に大きい状況である。さらに国立社会保障人口問題研究所によ

る推計では、2050年(令和32年)に約2万1千人になることが予想されている。このような状況を踏まえ、本市の人口減少対策については第Ⅱ期南島原市後期基本計画と一体化した南島原市デジタル田園都市国家構想総合戦略に基づき、各種施策を進めていくこととしており、将来の人口を2060年(令和42年)に2万5千人とする目標を実現するため、出産・子育て施策、企業誘致、定住移住施策などを重点的に取り組み、転出抑制と転入増加に繋げていかなければと考えている。

企業誘致について

議員 企業誘致については、どのようにしているのか。

地域振興部長 企業誘致については地域経済の活性化のほか、雇用の場の創出など、人口減少対策として、本市にとって大変重要な意義を持つものと考えている。具体的にはこれから堂崎港埋立地への積極的な企業誘致に市を挙げて取り組み、雇用

農業振興について

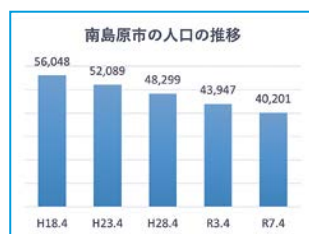
議員 農地を買えなかったと相談にいられた方がいたが、条件に該当しない点があったと思うが、市民の立場になって相談に乗ってもらえないか。

農業委員会事務局長 より分かりやすく丁寧な説明を心がけて対応していく。

地域振興について

議員 イベントに関して意欲ある団体等にも目を向け、上手な分配で予算を組めないか。

地域振興部長 新たな取組や体制づくりも含めて、いろんな方の意見を聞きながら前に進めていきたいと思っている。



質問の様子を動画で見よう

黒石英雄 委員長

農林水産・建設委員長報告(概要)

・議案1件を原案可決

【議案第34号】令和7年度南島原市一般会計補正予算(第2号)

〈建設部関係〉

質疑 緊急自然災害防止対策事業が急傾斜地崩壊対策事業へ変更となった経緯と理由は。

答弁 落石等の部分対策で想定していたが、土質の調査・確認等を実施した結果、工法の変更が必要と判断したため。

質疑 宮原道路の件は、まだ決着がついていないのか。

答弁 宮原の集団和解に関しては、話がまとまり、全員の印鑑をもらって、6月18日に法務局へオンライン申請が完了している。

質疑 年度内に道路の分筆や補償も終わり、通行が可能になるのか。

答弁 主に園芸施設や畜産関係の高温対策に対する分だが、今回の島原市からの負担金は花きである。花きは三戸以上の要件があり、農家数が揃わないため、半島三市で三戸以上というところでやっている。補助率は県3分の1、市10分の1で、資材の内容としては、UVカットや寒冷紗となって



委員会の様子

質疑 有機農業推進伴走型補助金をオーガニック協議会へ出しているが、今年度のオーガニック給食の回数は。

答弁 当初、計5回を計画していたが、現時点で6月に1回実施し、次を7月に行う。それから有機チャレンジ米の提供を11月以降に実施する予定である。

(採決の結果、原案可決)

文教厚生委員長報告(概要)

・承認2件を承認 議案3件を原案可決

【承認第1号】専決処分の承認を求めることについて(南島原市税条例の一部を改正する条例について)

【質疑】第82条で、新基準原付バイクの区分が追加されているが、所有者の年額2千円の税負担はどのようになるのか。

【答弁】今後、排気量50cc以下の原付バイクは生産終了となる。排気量が上がっても、最高出力が4.0kW以下のままであれば、税負担は今までと変わらない。

【質疑】課税限度額が基礎課税額で1万円、後期高

【承認第2号】専決処分の承認を求めることについて(南島原市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について)

齢者支援金分で2万円上がっているが、負担する側にとってはどうなるのか。

【答弁】課税限度額がそれぞれ上がるので、所得が高い人は負担が少し増える。また、軽減判定所得については、判定所得が上がっているの、前年と同じ所得の場合には、2割軽減や5割軽減に該当する可能性がある。(討論はなく、採決の結果、承認)

【議案第32号】南島原市税条例の一部を改正する条例について

【質疑】加熱式たばこ税について、換算方法を見直すことで市のたばこ税が増収になるのかどうか。また、加熱式たばこの喫煙者の負担は増えるのか。

【答弁】今まで加熱式たば

こは、紙巻きたばこより低い水準で換算していたが、課税の適正化により段階的に見直すことになった。そのため、本数が減らなければ市に入るたばこ税は増えるかと思う。また、今回の改正で加熱式たばこの喫煙者の負担は、若干増えると思う。

【議案第33号】財産の取得について(公立学校情報機器整備事業におけるPC端末(Chromebook)共同調達)

【質疑】共同調達の入札は、何者入っているのか。

【答弁】4者の入札があっている。(討論はなく、採決の結果、原案可決)

【議案第34号】令和7年度南島原市一般会計補正予算(第2号)

【市民生活部関係分】質疑なし

【市民生活部関係分】国勢調査の調査員

はどのような人たちにお願しているのか。また、調査に関する情報やプライバシーの取り扱いはどうしているのか。

【答弁】調査員は、市役所職員や一般の方に務めていただいている。プライバシーの取り扱いに関しては、中身を知られたくないということであれば、封筒も一緒に渡すので、封をして提出する方法と、また、タブレットやスマートフォンを使ってインターネットで回答する方法がある。調査員を介さずに回答できるので、ある程度プライバシーは守られていると思う。

【質疑】定額減税調整給付金支給事業について、事務費等も入れて約2億3千万円の補正予算が上

がっているが、対象者数や、どういう人が対象になるのか。

【答弁】人数は7千人程度を見込んでいる。また対

象者は、所得税を基に推計して算定しているため、今回令和6年分の所得が確定した段階で、給付金に不足が生じた方が対象になる。事業専従者についても去年の算定には入っていなかったの、今回の追加給付で該当する方が出てくるかと思う。

【教育委員会関係分】【質疑】旧北有馬学校給食センター解体工事と布津中学校トイレ改修工事については、どちらも入札の後に増額するというこ

とが。

また、はぎ取ったところの補修の塗り込みが予定よりも非常に厚くなったことで増額となり、今回の補正予算を計上するもの。

【質疑】布津中学校トイレ改修工事の完成時期はいつ頃の予定か。

【答弁】工期を延長して8月18日までに行っているが、今回の分でもう1か月ぐらい延ばす予定にしている。

(採決の結果、原案可決)



委員会の様子

令和7年 第2回定例会で意見が分かれた議案の採決

議 席 番 号		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	17	18
議案番号	議決結果	寺澤佳洋	松本添花	日向栄司	井上修一	田中克彦	末統浩二郎	永池充宏	酒井光則	中村哲康	高木和恵	隈部和久	林田久富	松永忠次	小嶋光明	黒岩英雄	吉岡巖	田中次廣
議案第34号	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○
議案第36号	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○
議案第37号	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○
同意第 2 号	同 意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○

○：賛成 ×：反対

令和7年 第2回南島原市議会定例会議決一覧

議案番号	件 名	議 決 年 月 日	議決の結果
議案第35号	南島原市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	令和7年6月17日	原案可決
報告第5号	令和6年度南島原市一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について	令和7年6月23日	受 理
報告第6号	令和6年度南島原市水道事業会計予算繰越計算書の報告について	令和7年6月23日	受 理
報告第7号	令和6年度南島原市下水道事業会計予算繰越計算書の報告について	令和7年6月23日	受 理
承認第1号	専決処分の承認を求めることについて(南島原市税条例の一部を改正する条例について)	令和7年7月4日	承 認
承認第2号	専決処分の承認を求めることについて(南島原市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について)	令和7年7月4日	承 認
議案第32号	南島原市税条例の一部を改正する条例について	令和7年7月4日	原案可決
議案第33号	財産の取得について(公立学校情報機器整備事業におけるPC端末(Chromebook)共同調達)	令和7年7月4日	原案可決
議案第34号	令和7年度南島原市一般会計補正予算(第2号)	令和7年7月4日	原案可決
議案第36号	損害賠償に係る調停に代わる決定及び損害賠償の額の決定について	令和7年7月4日	原案可決
議案第37号	令和7年度南島原市一般会計補正予算(第3号)	令和7年7月4日	原案可決
同意第2号	副市長の選任について	令和7年7月4日	同 意
	議員派遣について	令和7年7月4日	決 定
	閉会中における各委員会の継続調査申出について	令和7年7月4日	決 定

賛否討論

採決が分かれた議案のうち、主な意見を紹介します。

【議案第34号】令和7年度南島原市一般会計補正予算(第2号)

【反対討論】以前、北有馬の給食センターを欲しいという申し出があった。そのときでも4千万円ぐらいの解体費だろうと思っただ、約8千万円ということに驚いている。欲しい人がいたのに、もう少しここを活用したほうがよかったと思う。今いるんな面で本市は財政もなかなか厳しいという声もある。承認できない。

【議案第36号】損害賠償に係る調停に代わる決定及び損害賠償の額の決定について

【反対討論】事前に本人に説明をすべきだと思う。この損害賠償金に対しては、市が負担するだけでなく、本人から取るということも聞いており、私は本人の気持ちから分らないので承認できない。

全国市議会議長会表彰

5月20日に開催された第101回全国市議会議長会定期総会において、市政の振興・発展に努められた功績に対し、下記の2名の方が表彰されました。

(議員表彰の在職年数につきましては、町議会議員の在職年数の2分の1が通算されています。)

議員表彰20年以上



林 田 久 富 議員



黒 岩 英 雄 議員

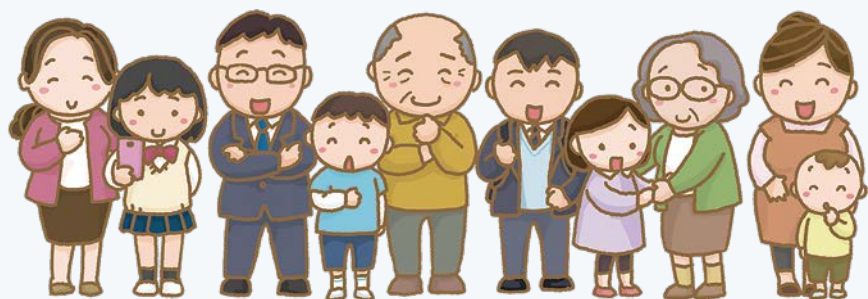
南島原市議会 Q & A

Question? 請願と陳情の違いは

Answer! 市民の皆様が、市政について意見や要望がある場合に請願や陳情を提出することができます。請願と陳情は、要望等を議会に対して伝える手段という点では同じですが、形式が異なります。

請願は、憲法で保障された国民の基本的権利であり、その方式や手続きなどが定められていますが、陳情は定められていません。

なお、請願は1名以上の紹介議員が必要となりますが、陳情には必要ありません。



長崎県の施策に関する要望・提案活動

南島原市は、平成21年度から県の施策に関する要望・提案活動を実施しています。

本年度も去る7月29日、松本市長、吉田議長をはじめ総勢14名で長崎県庁を訪れ、市長、議長連名による要望・提案書を県知事・県議会議長に提出し、各種施策や課題について県の支援をお願いしました。ここでは、その要望項目をご紹介します。

No.	要 望 項 目
1	構想路線「島原天草長島連絡道路（深江町～口ノ津港間）」の早期事業化について
2	構想路線「島原半島西回り道路」の調査検討について
3	堂崎港埋立地の企業立地に向けた支援について
4	島原・天草・長島架橋構想の推進について
5	島原手延そうめんの産地振興について
6	土石流被災家屋保存公園を含めた「道の駅ひまわり」の再整備について
7	医療・介護の継続的な充実について
8	海藻養殖（ヒジキ）の生産支援について
9	畑地帯総合整備事業（担い手育成対策）の予算確保について
10	自転車歩行者専用道路の整備及び利活用の促進について
11	一般国道251号の安全・安心対策について
12	一般国道389号の整備促進について
13	主要地方道小浜北有馬線（北有馬町坂下地区）の新規事業化について
14	二級河川の整備について
15	原城跡世界遺産センター整備事業に係る支援等について
16	学校施設環境改善交付金について



要望・提案活動の様子(長崎県庁特別応接室)



要望・提案活動の様子(長崎県議会 議会運営委員会室)



お知らせ

南島原市議会の本会議の様子は、ケーブルテレビ、インターネット、FMラジオで放送されます。傍聴に来られない方も、本会議の映像等をご覧いただけますのでぜひご視聴ください。

議会ケーブルテレビ中継（生放送・録画）



- * ひまわりテレビ **204 ch**
- * カボチャテレビ **112 ch**

議会インターネット中継（生放送・録画）



議会FMラジオ放送

- * FMひまわり 周波数 **87.6 MHz**
- * FMしまばら 周波数 **88.4 MHz**

★詳しくは、南島原市議会ホームページへ で検索！

次回の定例会は
令和7年9月2日(火)
開会の予定です

議会広報

編集特別委員会

委員長 井上 修一 副委員長 末続浩二郎
委員 寺澤 佳洋 委員 田中 克彦
委員 永池 充宏 委員 酒井 光則
委員 田中 次廣

（発行責任者）

議長 吉田幸一郎



お問い合わせ

☆議会だよりに、御意見、御感想がありましたら、
議会事務局「議会だより」係までお願いします。

〒859-2202 南島原市有家町山川58番地1

☎ 0957-73-6611

メールアドレス：gikai@city.minamishimabara.lg.jp

編集後記。

昨年より続く令和の米騒動では米価の上昇が続く新しく就任した小泉農林水産大臣は政府の非常用備蓄米を大量に放出し米の値下げ対策に必死のようです。しかし私たち南島原市の水田を見渡しますと、担い手の高齢化や後継者不足などにより至る所に耕作放棄地が目立ちます。全国の農家の平均年齢は68歳であり、今後急激な生産力の低下が危惧

されています。米の値下げ対策だけでなく持続可能な農業の実現を目指す取組が求められています。さて、私たち市議会議員の任期も残すところあと1年となりました。現在市議会では来年の改選を見据えて、人口減少社会に対応できる市議会を目標として議員定数等調査検討特別委員会を設置し、同じ人口規模の市町を参考にしな

から議員定数等の検討を進めています。次回の定例会では新しい定数案が取りまとめられるものと思います。私たち広報編集特別委員も市民の皆様に関心される議会だよりを目指して頑張っています。これからもご愛読いただきますようよろしくお願い申し上げます。

議会広報編集特別委員会
委員 永池 充宏